

くらしサポートセンター 守口ニュース

vol.18

2018年4月

発行：くらしサポート
センター守口
〒570-0083
守口市京阪本通2丁目5-5
守口市役所7階

刊代刊
0800-200-8011
TEL：06-6998-4510
FAX：06-6998-4512

新年度の
ご挨拶

就労準備支援・ひきこもり

主任相談員
西田 茂生

支援の充実をはかります！

『くらしサポートセンター守口』を開設して3年が経過し、守口市役所の7階に移転してきました。「働きたくても仕事が見つからない」、「病气や障がいにより生活が困窮している」、「社会から孤立しており社会に出るのが怖い」等複合する問題により、生活困窮に陥った方やその恐れがある方に対して、困窮状態から早期に脱出することを支援しています。平成29年度は、広報活動や関係機関の協力もあり、認知度も広がりのつつあり、相談者数・件数は「平成29年度は、458人、4343件」と相談者数、件数ともに増加しています。昨年度からは、不登校・ひきこもりの子どもを心配する家族セミナーや家族会を開催し、今まで関わることが出来なかった方々と出会うことができました。当事者にも繋がることで、就職や復学をしたケースもあり、一定の成果を得ることにも課題を発見しました。

守口市民、協力企業の寄贈や協力もあり、生活困窮者への食糧、生活必需品の支援を、必要な方に届けることができるようになりました。ふーどばんくの利用件数が、昨年度は443件に。ライフラインがストップした方の緊急支援、子育て世帯への支援として食糧や生活必需品は役立っています。また市民の皆さんにフードドライブ（食料寄付）の協力を呼びかけたところ初年度はくわすかだった寄付が平成29年度末では115件に増え、支援の輪が確実に広がっているのを感じます。

生活困窮や社会的孤立の芽をできるだけ早く発見し、支援に取り組めるよう今後とも守口市内のネットワークを広げ、広報活動の充実にも力を尽くす予定です。
みなさまのご協力をよろしくお願ひします。

住居確保給付金とは

「住居確保給付金」は、離職後2年以内の、65歳未満の方で、住まい（賃貸）を喪失するか、喪失のおそれのある方に、就職の支援とともに3か月間の家賃助成（一定の要件により延長が可能）を支給するものです。離職等の日においてその属する世帯の生計を主として維持していたこと。ハローワークに求職の申し込みをし、誠実かつ熱心に常用就職を目指した求職活動を行うことなどの要件があります。

収入・資産要件など条件があります
詳しくは
くらしサポートセンター守口まで

「働くための体力づくり」

就労準備支援「ヨガ」開催中

ヨガ療法士の古市佳也先生を月1回、お迎えしています。
相談者の健康増進に役立っています。

- ★ ゆっくりと優しいヨガで乱れたところと身体のバランスを整えていきます。（呼吸法・緊張と弛緩）
- ★ 不安感や抑うつ感、こころの疲労、イライラ等混乱した精神状態を改善します。
- ★ 肉体的には、体の緊張が緩み自律神経のバランスを整えます。
- ★ 自己を客観視できるので自己コントロール力がつきます。（感情のコントロールがうまくなる。）

利用には一定要件があります。

お問い合わせは

くらしサポートセンター守口 まで
刊代刊：0800-200-8011

裏面には「就労準備支援事業」利用者の新たなチャレンジとして、C-S-T-E-P人材・養成事業について掲載しています。ぜひご覧ください。

はじめの第一歩を
応援します！

「2017年度 C-STEP 人材開発・養成事業に参加して」

(10代後半女性)

私は普通科全日制高校になじめず、通信制高校に編入して卒業しました。大学進学は興味のない一般教養課程も履修しなければいけないので自分に合わないし、やりたない仕事もないし、何がやれるのかもわかりませんでした。とりあえず自動車運転免許をとることにしましたが、外出時は駅や繁華街の雑踏が嫌だったり、人と接することが怖かったり、眠りのリズムが整わない日もありました。家にばかりいると体力がなくなり、一時期は太ももの筋肉が落ちて自転車をごくことができないうらいになりました。

【踏み出した一歩】

家に籠ってはいけけないな、外へ出るきっかけがないかな、と思っている時に母親からくらしサポートセンターのことを聞き、とにかく一度、就労準備支援事業に参加することにしました。帰宅するとグッタリしてしまう日もありましたが、週1回からだんだん利用回数を増やしていくことができました。パソコンセミナーやグループワーク、調理実習、封入作業、入力作業、ポスティングなどいろいろなることを経験しました。通うには交通費が必要だったので、作業でインセンティブが得られるのはうれしいことでした。

最終盤、職業訓練に行くか就労するかを検討できるくらいになったタイミングで C-STEP 人材開発・養成事業という就労

体験の提案を受けました。1週間の座学でビジネスマナーなど学び、その後2週間、企業で就労を体験するものです。事務系やサービssystem、軽作業など自分が希望する職種によって体験先が決まります。私は事務という仕事かどのようなものか知りたかったので事務系を希望し、就労体験がやりきれるように就労準備支援事業も週5回利用するようにしました。

【継続は力なり】

利用スタートから半年かけて週5日外出できるようになってからの職場体験でも、疲れて倒れこむように帰宅する毎日でした。職場は人が大勢いるフロアで不安でしたが、体験先は指示命令が整っていて混乱なく過ごすことができました。聴覚障がいの方のためにDVDの文字起こし作業をしたり、部署の引越にともなう処分品の分別でリサイクルを実感したり、知らない世界に触れることができました。食堂にも同行してもらい、同じ趣味の方とアニメの話に盛り上がると、同席している方に「呪文を唱えてみるみたい」と言われたことも楽しく感じました。体験後半では少しは余裕ができて、帰りに買い物に立ち寄ることもできました。

体験終了後、C-STEPから学校事務での就労の推薦をいただきましたが、通勤の負担が大きくて断念しました。働くということを実感し、責任を持って仕事する体

験ができて自分の成長があったと振り返ることができます。

【次のステップへ】

働くということを実感し、責任を持って仕事する体験ができて自分の成長があったと振り返ることができます。今後の働き方について、今、くらしサポートセンターのスタッフと相談しているところです。

実習先企業担当者のコメント

就労経験がないと伺っていたため、初めてのオフィスでの業務が負担にならないか心配でした。しかし実習中は私たちが用意していた業務を予想以上に早く正確にしていた為、他の業務を急ぎ準備させてもらいました。又、部署内で数人の仕事を手伝って頂きましたが、その集中力は目を見張るものがあると評判になりました。今回の実習で得た自信を糧に、パソコンスキルの向上や電話応対にも挑戦され活躍されることを願っています。

お問合せは「くらしサポートセンター 守口」まで

フリーダイヤル：0800-2000-8011

電話：06-6998-4510

住所：守口市京阪本通2丁目5-5 守口市役所7階

就労準備支援事業に関する詳しい情報は↓

<http://yarukimitekure.com/moriguchi/information/>